

令和3年度 ブカレスト日本人学校 学校経営方針

1 学校教育目標

国際的な視野に立ち、自ら考え、正しく判断し、行動する児童生徒の育成

2 基本方針

(1) 新学習指導要領を踏まえた教育実践

- ① 自ら学び、主体的に活動し、人生を拓く確かな学力の向上を図る。
- ② 豊かな情操と連帯感の育成に努め、思いやりのある子供を育成する。
- ③ はたらくことの意味や楽しさがわかるためのキャリア教育を推進する。
- ④ 体験的学習を充実させ、生きる力を育成する。
- ⑤ 安全教育の徹底を図り、健やかな体を育む。

(2) 教育環境の整備・充実

- ① 施設・設備の充実とその活用に努める。
- ② 清掃活動、委員会活動、栽培活動等を通して美しくうるおいのある学校環境をつくる。
- ③ 図書館の整備による読書の奨励に努める。
- ④ 校舎内外の整理・整頓と美化を図り、危険防止に努める。
- ⑤ 保護者・現地社会との連携を深め、安全安心な学校づくりに努める。

3 本年度の具体的努力事項

(1) 確かな学力と学習意欲の向上

- ① 学ぶ楽しさ、わかる喜びが体感できる授業づくり
- ② 学び合いやかかわり合う活動など多様な授業形態の導入による学習過程の改善
- ③ 言語活動を重視した授業構成の工夫と判断力・表現力の向上の向上
- ④ 「主体的、対話的で深い学び」の視点を積極的に取り入れることによる思考の活性化
- ⑤ ICT 機器やデジタル教材の導入と活用による授業の合理化と効率化
- ⑥ 一人一人の個性やニーズを大切に、UDL の視点に基づいた授業

(2) 基礎学力の向上を目指した学習習慣の確立

- ① 授業での定期的な宿題の提示と確実な点検による実践
- ② 終学活での家庭学習の計画、家庭での継続的な取組
- ③ テスト前や長期休業中などにおける学習支援の拡充
- ④ 学習規律の確立と9年間を見通した継続的な取組

(3) 豊かな情操

- ① いじめの未然防止、早期発見、即時対応
- ② 生徒が主体・主役となる学校づくりと豊かな体験活動
- ③ 困難に対して他と協力しながら問題解決を図る意欲や態度の育成
- ④ 社会性の育成（規範意識、自己有用感、思いやり、コミュニケーション能力）

4 目指す子供の姿

- (1) よく学ぶ子供（進んで真理を学び、創造性に富む子供）
 - ・学習の準備がきちんとでき、正しい姿勢で学習できる。
 - ・話し合いのきまりに従って発表できる。
 - ・学習の手順がわかり、問題意識を持って授業に参加できる
 - ・人の話や発表をしっかりと聞き、友達の考えと比べながら自分の考えを発表したり書いたりできる。
- (2) 心やさしい子ども（心豊かで思いやりのある、礼儀正しい子ども）
 - ・友達や弱い子に親切にでき、勇気をもって正しいことができる。
 - ・花や生き物をかわいがる。
 - ・心のこもった挨拶ができ、ものを大切にできる。
 - ・人の話を静かに聞くことができる。
 - ・自分のやることがわかり、友達と力を合わせて活動ができる。
 - ・みんなのために進んで活動し、丁寧に掃除をすることができる。
- (3) じょうぶな子ども（健康でたくましい子ども）
 - ・休み時間は友達と元気よく遊ぶ。
 - ・進んで運動に取り組み、自分の力を伸ばせる。
 - ・早寝早起きを心がけ、バランス良く何でもおいしく食べる。
 - ・交通ルールをしっかり身に付け、安全を確かめて行動できる。
- (4) がんばる子ども（最後までやりぬく子ども）
 - ・集団のルールを守って、活動できる。
 - ・自ら苦しさに向き合うことができる。

5 教職員の心構え

- (1) 高い人権感覚をもち、生徒の個性を認め、その成長を喜びとして教育活動にあたる。
- (2) 職務への自覚と責任、教育への情熱、誇り、謙虚さをもち、職員で力を合わせ職務にあたる。
- (3) 報告、連絡、相談を密にし、チームとして組織的に対応する。
- (4) 生徒の思いや保護者や日本人会の願いを受け止め、誠意をもって対応する。
- (5) 常に向上心をもって自己研鑽に励み、資質の向上を図るべく研修に努める。
- (6) 前例踏襲を見直し、常によりよいものを目指す姿勢を忘れない。
- (7) 危機管理意識を常にもち、「最悪を想定し、最善を尽くす」ことを心がける。
- (8) 自分の経験や出身都道府県のやり方、年次などにとらわれず柔軟に対応する。
- (9) 家庭、運営委員会と一体となって共に歩み、学校経営の健全化を目指す。
- (10) すべての教育活動において、コロナ感染予防を最大の課題として対策を立てる。